

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	府中市小柳町2-11-2 TEBS BUILDING 3F
園名	ソラスト府中保育園

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

楽器作り（5歳児たいよう組）

〈テーマの設定理由〉

- ・子どもたちが保育園の楽器に親しみ、音色を楽しんでいる。
- ・誕生会で楽器に触れる機会があり、子どもたちも興味を持っていた。
- ・楽器の仕組みに興味を持ち、観察する様子もあった。

2. 活動スケジュール

8月3日（月）楽器遊び（音色を楽しみ、楽器の仕組みを観察する）
8月5日（水）楽器作り（廃材を使用し、自分の好きな楽器を製作）
8月6日（木）演奏会ごっこ（制作した楽器を演奏し、音色を楽しむ）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・楽器
（タンバリン、鈴、カスタネット、ツリーチャイム、ウッドブロック、ギロ、小太鼓、ギター、木琴、マラカス、オーシャンドラム、ピアノ等）
- ・廃材
（空き箱、プラカップ、小豆、ラップの芯等）
- ・道具（はさみ、のり、テープ、輪ゴム、ボンド等）

4. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

8月3日 楽器遊び

- ・様々な楽器を用意し、好きなものを音楽にあわせて演奏することを楽しむ。
- ・楽器の音のなる仕組みを観察する。

8月5日 楽器作り

- ・どの材料でどの楽器が作れるか考え、話し合いを行う。
- ・廃材を活用し、好きな楽器を製作する。

8月6日 演奏会ごっこ

- ・作った楽器の頑張ったところなどを一人ずつ発表する。
- ・グループごとに音楽に合わせて演奏を行う。
- ・ホールでクラス全員で演奏を行う。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

楽器遊び

- ・保育園の楽器に興味をもち、問いかけると名前を答えることが出来ていた。
 - ・好きな楽器に触れ、音楽に合わせて楽器を鳴らすことを楽しんでいた。
 - ・好きな楽器や作りたい楽器の音のなる仕組みや形をよく観察していた。
- ギターには穴が空いている、太鼓の中身は空洞なのか、ツリーチャイムは筒がぶつかって音がなっている等の気づきがあった。

楽器作り

- ・様々な材料や道具を用意し、子どもたちが想像力を膨らませながら制作できる環境を整えた。
- ・子どもたちのやりたいことが実現できるように、保育者が提案や援助を行った。
- ・子どもたち同士で作り方の相談をする姿も見られた。

演奏会ごっこ

- ・作った楽器と頑張ったところの発表を一人ずつ行った。
- ・グループごとで音楽に合わせて演奏を行った。
- ・ホールで全員で演奏を行い、楽しむ様子が見られた。



5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・好きな楽器に触れる機会を増やすことで、様々な楽器に興味を持つことが出来ていた。
- ・音色を楽しんだ後に、楽器の音のなる仕組みにも興味を持ち、ぶつかって音がなるなどに気づくことが出来ていた。
- ・ギターの内側やボンゴの裏側など、普段目にするところまで観察を行う姿があった。
- ・制作が得意な児が家庭でも楽器作りを行い持参していたこともあり、他児の作りたいものが明確にイメージできている様子があった。
- ・友だち同士で作り方の相談をしながら、更に良い方法を見つけ作ることを楽しんでいた。
- ・演奏会ごっこでは、それぞれ自分の作った楽器をどのように音を鳴らすか工夫しながら演奏していた。
- ・何回か演奏会を行うことで、複数個作っていた児は毎回違う楽器を使い演奏を楽しむことが出来た。